

リハ医学会近畿地方会 Newsletter



平成16年度 第1号
平成16年12月31日

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会事務局
独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
リハビリテーション科 住田 幹男

お問合せ先
〒650-0033 神戸市中央区江戸町93 栄光ビル2F
プロアクティブ・コンベンション株式会社内
TEL: 078-334-6661 FAX: 078-334-6662
E-mail: kinkireh@pac.ne.jp



近畿地方会の課題と今後の展望

新しい出発点に立って

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会 新代表幹事 住田 幹男
独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院リハビリテーション科



第4期目の新代表幹事として、すでにリハ広報ニュースの地方会紹介記事の挨拶文で抱負を述べましたが、2,000名弱の多くの会員を近畿地方会は擁しています。リハ医学会誌や広報ニュースで医学会運営のための多くの懸案事項に対する報告がなされ、また医学会総会学術集会においても多くの会員の発表がされています。しかしながら地方会としての活動は年2回の学術集会と3回の各地区における教育研修会となっており、まだまだ他学会の近畿地区における集談会などの内容に比較して低調と言わざるを得ません。とりわけ日常診療に根ざした症例報告や臨床研究報告は会員の実数から学術集会の演題数などからみますと活発とはいえません。専門医・認定臨床医教育研修会への参加者数との乖離は単に広報活動の不徹底だけとは思われません。地方会がしっかりと地方会会員のニーズに応じつつ日常リハ診療の糧となるよう

に会員が発表しやすい土壌を培うことが最重要かつ緊要の課題と考えています。

リハビリテーション関連の研究会は近畿各地において数多く存在しておりリハスタッフを含めると優に100を超える組織があります。そのような中で近畿地方会の独自性を発揮して、魅力ある地方会にしていくことが切に求められていると考えます。昨今広告リハビリテーション科専門医が厚労省で認定され、中間法人認定協においてもリハビリテーション科は基礎分野に位置づけられています。

以上の実情から、従来の広報委員会、学術・編集委員会に加えて教育担当委員を中心にして教育委員会を立ち上げることにしました。今後各年度の研修講演の内容の吟味や日本リハビリテーション医学会地方会組織委員会とも強固に連携をはかりながら活性化の方策を練っていくことを大きな基本指針としたいと思います。また近畿

地区の日本リハビリテーション医学会の理事として医学会理事会等にもさらに地方会活性化のための財政の増加支援も訴えて行く予定です。

最後に滋賀県にも専門医が少なからずおられますので積極的に地方会の運営に今年度中に参加をお願いしたいと思います。地方会会員の皆様にとって今年は災害の多い年でありましたが、来年はよい年でありますようお祈り申し上げます。

CONTENTS

- 1 近畿地方会の課題と今後の展望
- 2 代表幹事退任の御挨拶
- 3 第18回近畿地方会御案内・会長挨拶
- 4 Newsletterおよび近畿地方会ホームページについて
・広告: グラクソ・スミスクライン
- 5 日本リハビリテーション医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会カレンダー
・編集後記
- 6 広告: 藤沢薬品工業(株)、日本新薬(株)